

2013年

かひけいほ

7月号

発行 家計簿くらし調査研究会

コープのホームページ

<http://www.ucoop.or.jp/hiroba/report/kurashi/01/index.html>

“家計簿からみた私たちのくらし、明日への確かな一歩へ”

—2012年全国生計調査報告—



5/30（木）四谷の主婦会館プラザエフで開催された「2013 年度公開研究会」に参加をしました。全国の2012年の生計調査報告や家計簿記帳の意義やくらしを守るためのファイナンシャルプランナーの報告など、いろいろな事を吸収しましたので、報告をします。（メンバー5人参加）

〈2012年全国生計調査報告〉

- ・ 実収入（給与所得世帯）は前年比100.2%で変わらず。しかし、妻の収入は増加。
- ・ 消費支出は4年連続で減少。
- ・ 年間収支（給与所得世帯）では黒字となっている。が、年収400万円未満世帯では赤字で前年より増加。
- ・ 「消費税しらべ」の報告。1世帯当りの年間消費税は平均168,991円。収入に占める消費税の割合は、年収400万円未満では1,000万円以上世帯の1.66倍の負担増で、収入の低い世帯ほど負担率が高い「逆進性」が見られる。

〈家計簿記帳の効果〉

- ・ 自身の生活の見直しができる。
- ・ 家計運営・生活設計の基礎資料になる（次へのアクションに繋がる）。
- ・ 家計を通じて家族との関わり意識が高まる。
- ・ 税や社会保険の負担感から社会への関心・意識を持ってくる（社会への声の発進）。
- ・ 平均データとの対比による相対比を見ることができる。



〈みやぎ生協 2012年のまとめ報告〉

- ・ 2011年の震災の影響が残っている。
- ・ 家計簿の数値から震災からの生活再建の様子が読みとれる。
- ・ 消費支出では2011年に多かった家賃地代と住居費その他が大きく減少。震災で抑えていた交通費と教養娯楽費は増加。自動車関係費は買い替えなどで、2011年に引き続き増えている。
- ・ “消費税しらべ”では震災前は15万円台。2012年は19.5万円に増加。住宅の修理、車の買い替えが影響している。

あの日から1年

昨年の震災から1年が過ぎました。日常生活はほぼ震災前と変わりなくなったように思えますが、ふとした時に亡くなった隣人や友人などの事を思い出し落ち込んでしまう日もあります。でも、残された日々を明るく有意義に過ごしていかなければと思い、毎日を過ごしています。
(60代)

〈ユーコープ（旧コープかながわ）報告〉

- ・ 2012年のまとめ。
- ・ 40周年「家計簿交流会」をしました。